

ルールを守って、安全でうるおいのある景観形成を

屋外広告物は、適正に表示されれば、街のにぎわいを演出したり、経済・文化活動などの社会生活に必要な情報を提供するなど、非常に有意義なものです。

一方で、無秩序、無制限に表示されれば、広告としての本来の役割を果たさなくなるばかりか、自然や街のもつ美しさを損なうこととなります。また、設置や管理が適切に行われなければ、倒壊や落下によって、思わぬ事故が発生する場合があります。

そこで、青森県では、屋外広告物法に基づき青森県屋外広告物条例により、屋外広告物の表示や設置についてのルールをつくり、必要な規制を行っています。

なお、青森市・八戸市及び弘前市の区域では、それぞれ「青森市屋外広告物条例」、「八戸市屋外広告物条例」、「弘前市屋外広告物条例」が適用されます。

屋外広告物も景観の一部です。ルールを守って、私たちの住む街の景観を安全でうるおいのあるものとしましょう。

屋外広告物規制の あらまし

屋外広告物とは

屋外広告物とは、「常時又は一定の期間継続して屋外で公衆に表示されるもので、看板、立看板、はり紙及びはり札並びに広告塔、広告板、建物その他の工作物等に掲出され、または表示されたもの並びにこれらに類するもの」をいいます。

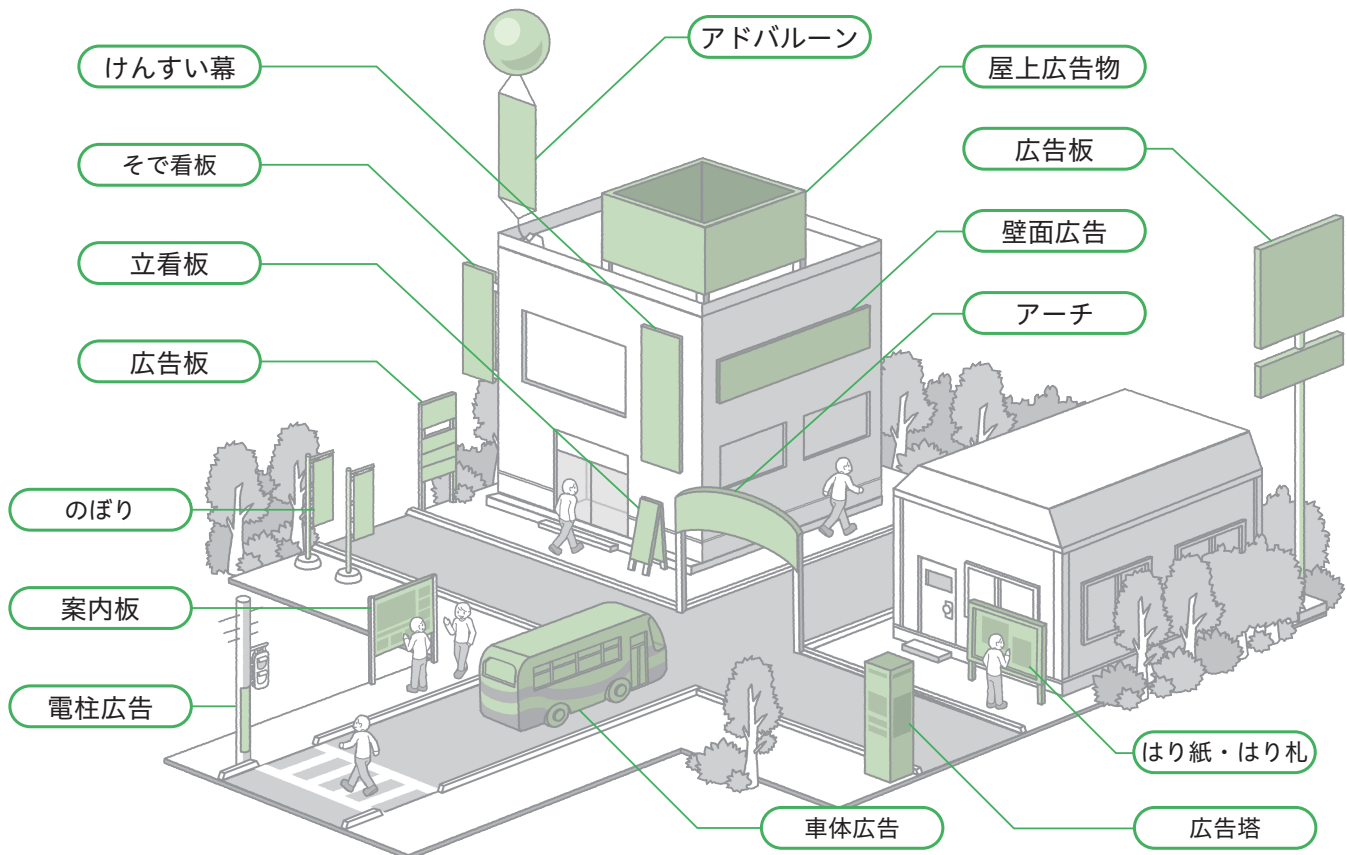
この要件に該当する広告物であれば、商業広告にかかわらず、非営利のもの、公共目的のものであっても、表示する内容にかかわらず規制の対象となります。

なお、街頭で配られるビラやチラシの類は、定着性がないことから屋外広告物には該当しません。また、駅構内や野球場にいる人のみを対象としたものなどは、「公衆に表示」されているとは言えず屋外広告物に該当しません。

注 意

このパンフレットは、屋外広告物の規制をより多くの方々に理解していただくため屋外広告物条例の内容を簡単にまとめたもので、規制の全てを記載したものではありません。実際に屋外広告物を表示・設置する際には、県都市計画課又は市町村屋外広告物担当課に詳細をお問い合わせください。

街中の様々な屋外広告物



屋外広告物規制の4本柱

屋外広告物の規制は、景観上の観点または安全上の観点から、大きく分けて次の4つの柱に基づいて行っています。

屋外広告物の規制

1 禁止広告物【条例第3条】 ...p3

県内全域、どのような場合でも一切表示・設置することができない広告物です。

2 禁止物件【条例第5条】 ...p4

地域に関係なく、原則として広告物を表示・設置できない物件です。

3 禁止地域【条例第4条】 ...p5

広告物の表示・設置が、原則として禁止される地域・場所です。

4 許可地域【条例第6条】 ...p6

広告物を表示・設置するためには、原則として許可が必要な地域です。

※許可地域は、自然景観に配慮するために定められた **自然景観型許可地域** と、賑わいある街並みの形成を促進するために定められた **市街地景観型許可地域** があります。(平成29年10月1日～)

良好な景観の形成・風致の維持
公衆に対する危害の防止

広告表示者等の義務

すべての広告物に共通して順守すべき義務

広告物の表示者等は、屋外広告物を表示・設置する場所、広告物の種類に関係なく、次の義務を守らなければなりません。

広告物の管理義務【条例第17条】

屋外広告物の表示者等は、表示した広告物について、補修その他必要な管理を怠らず、良好な状態に保持しなければなりません。

広告物の点検【条例第17の2条】 (平成29年10月1日～)

表示者等は、規則で定めるところにより、屋外広告士その他これと同等以上の知識を有するものとして規則で定める者に、当該広告物又は掲出物件の本体、接合部、支持部分等の劣化及び損傷の状況を点検させなければなりません。

広告物の除却義務【条例第18条】

許可期間が満了したとき、許可が取り消されたとき、表示等の必要がなくなったときなどは、5日以内に広告物を除却しなければなりません。また、除却した場合は、市町村にその旨を届けなければなりません。

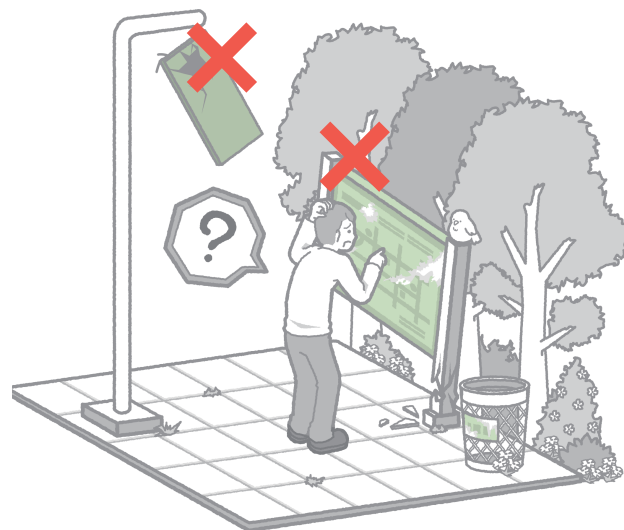
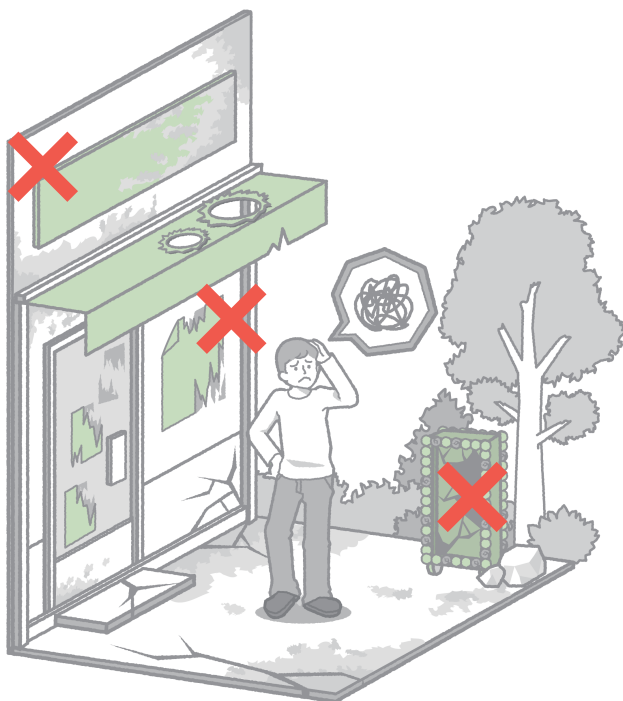
！ 一切表示・設置ができない広告物があります。

1 禁止広告物【条例第3条】

県内全域、どのような場合でも一切表示・設置することができない広告物です。

次のような広告物は、県内のどの地域でも、どのような場合でも、誰が表示したものであっても、例外なく表示・設置が禁止されます。これに違反した場合には、措置命令の対象となり、この命令に違反した場合には、罰則（50万円以下の罰金）の対象となります。

- 著しく損傷し、又は老朽化したもの
- 倒壊し、もしくは落下し、又はそのおそれがあるもの



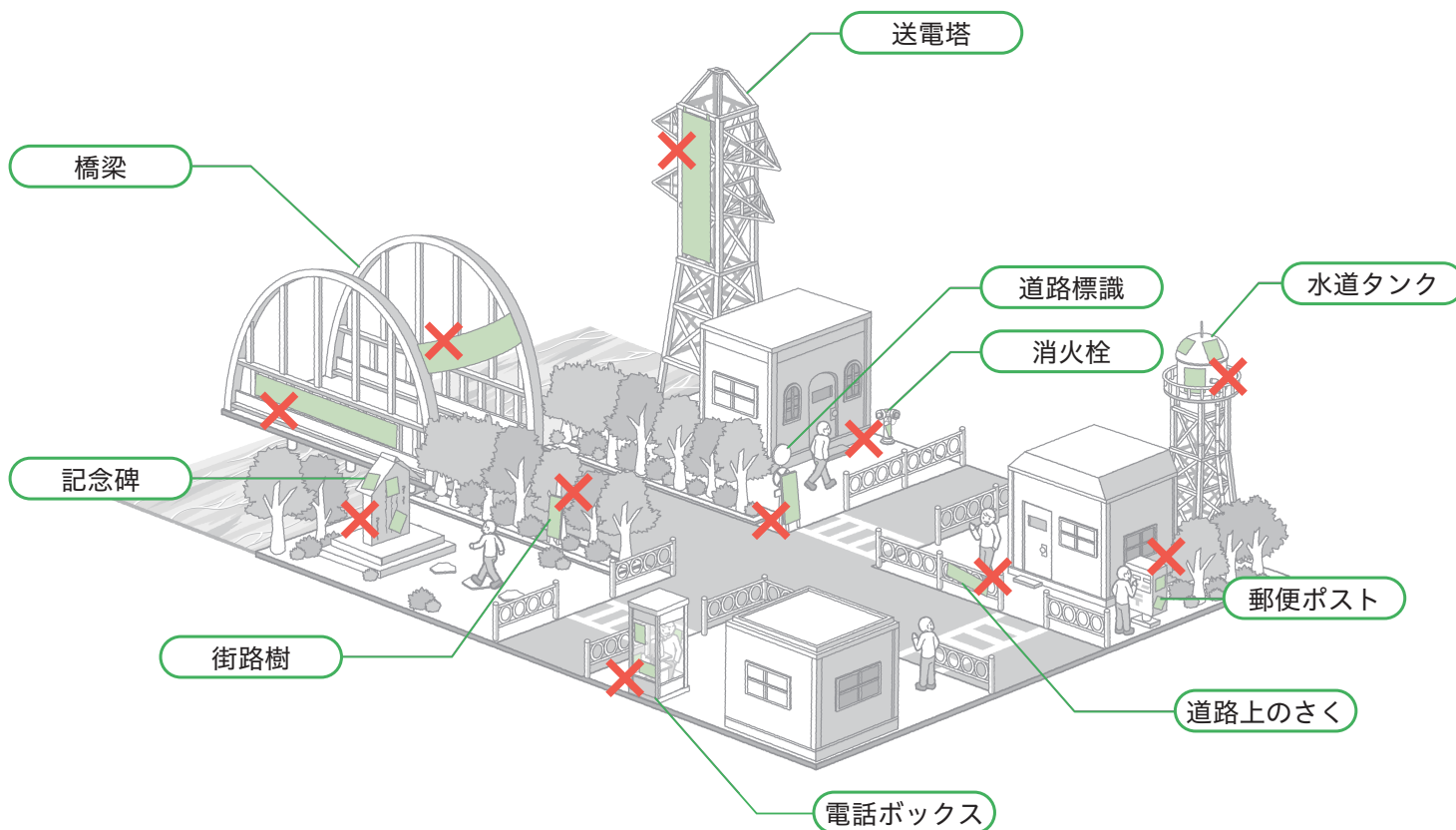
！ 広告物を表示・設置できない物件があります。

2 禁止物件【条例第5条】

地域に関係なく、原則として広告物を表示・設置できない物件です。

次のような物件には、県内のどの地域でも、原則として広告物の表示・設置ができません。
これに違反した場合には、措置命令、罰則（30万円以下の罰金）の対象となります。

- 橋梁、トンネル、高架構造物、分離帯及び擁壁
- 街路樹及び路傍樹
- 信号機、道路標識、道路元標、里程標並びに道路上のさく及び駒止
- 消火栓、火災報知器及び火の見やぐら
- 郵便ポスト及び電話ボックス
- 路上変電塔、送電塔、送受信塔及び照明塔
- 煙突並びにガスタンク、水道タンク及び石油タンク
- 銅像、神仏像及び記念碑 など



！ 一切表示・設置ができない地域があります。

3 禁止地域【条例第4条】

広告物の表示・設置が、原則として禁止される地域・場所です。

次のような地域では、原則として広告物の表示・設置が禁止されます。
これに違反した場合には、措置命令、罰則（30万円以下の罰金）の対象となります。

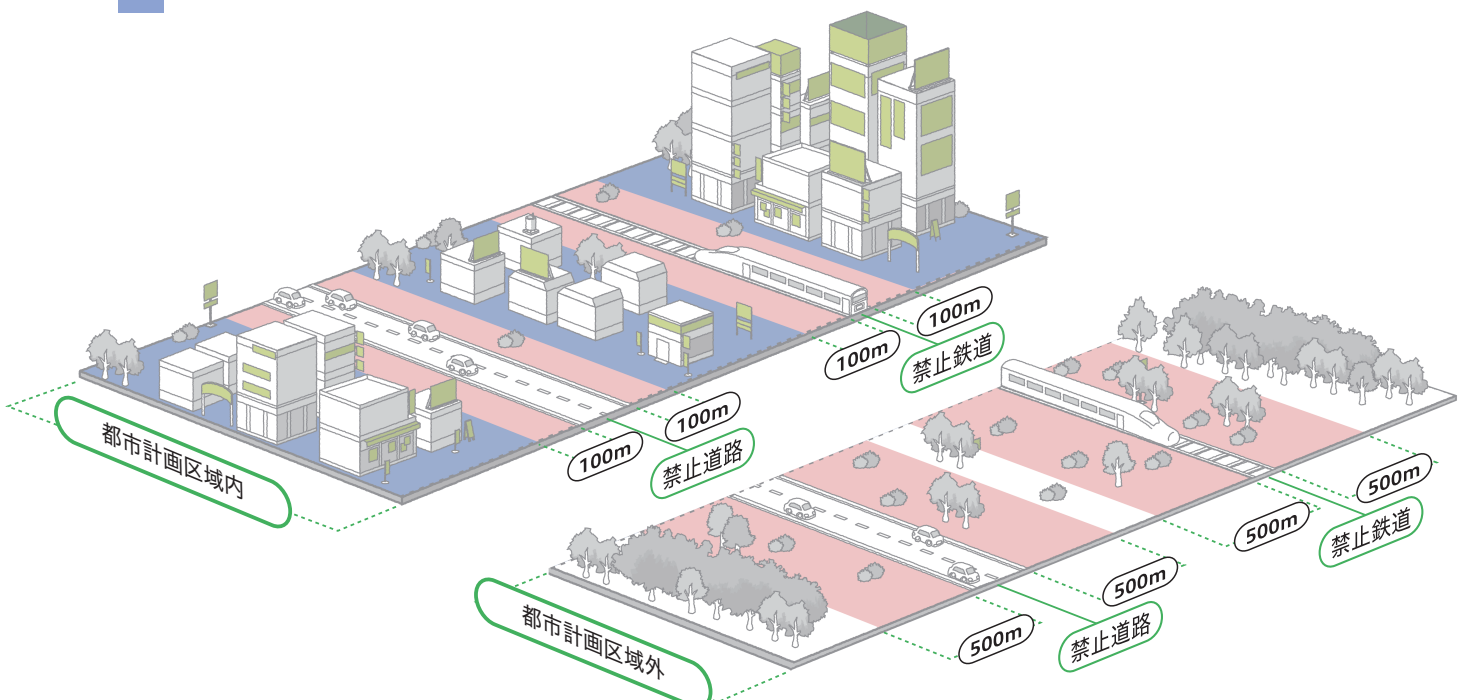
- 第一種・第二種低層住居専用地域
- 重要文化財、史跡名勝天然記念物、県重宝等の区域
- 国立公園及び国定公園、県立自然公園の区域
- 高速自動車道及び自動車専用道路の全区間、道路、鉄道等の知事が指定する区間
- 道路、鉄道等から展望できる地域で、知事が指定する区域
- 都市公園の区域
- 官公署、学校、図書館等公共性の高い施設及びその敷地 など

凡例

禁止地域

都市計画区域内の地域：禁止道路（鉄道）の路肩端又は路盤端から両側 100m 以内の区域
都市計画区域外の地域：禁止道路（鉄道）の路肩端又は路盤端から両側 500m 以内の区域

許可地域



！ 許可を受けなければ、表示・設置できない地域があります。

4 許可地域【条例第6条】

広告物を表示・設置するためには、原則として許可が必要な地域です。

次のような地域では、広告物を表示等する場所を管轄する市町村長の許可を受けなければ、原則として広告物の表示・設置ができません。

これに違反した場合には、措置命令、罰則（30万円以下の罰金）の対象となります。

自然景観型許可地域

許可地域のなかでも、自然景観に配慮するために定められた地域です。

- 道路、鉄道等の知事が指定する区間（都市計画区域内の区間を除く）
- 道路、鉄道等から展望できる地域で、知事が指定する区域（都市計画区域内の区域を除く）
- 市街化調整区域、第一種・第二種中高層住居専用地域、用途地域が定められていない土地の区域

市街地景観型許可地域

賑わいある街並みの形成を促進するために定められた地域です。

- 道路、鉄道等の知事が指定する区間（都市計画区域内の区間）
- 道路、鉄道等から展望できる地域で、知事が指定する区域（都市計画区域内の区域）
- 第一種・第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域、工業専用地域

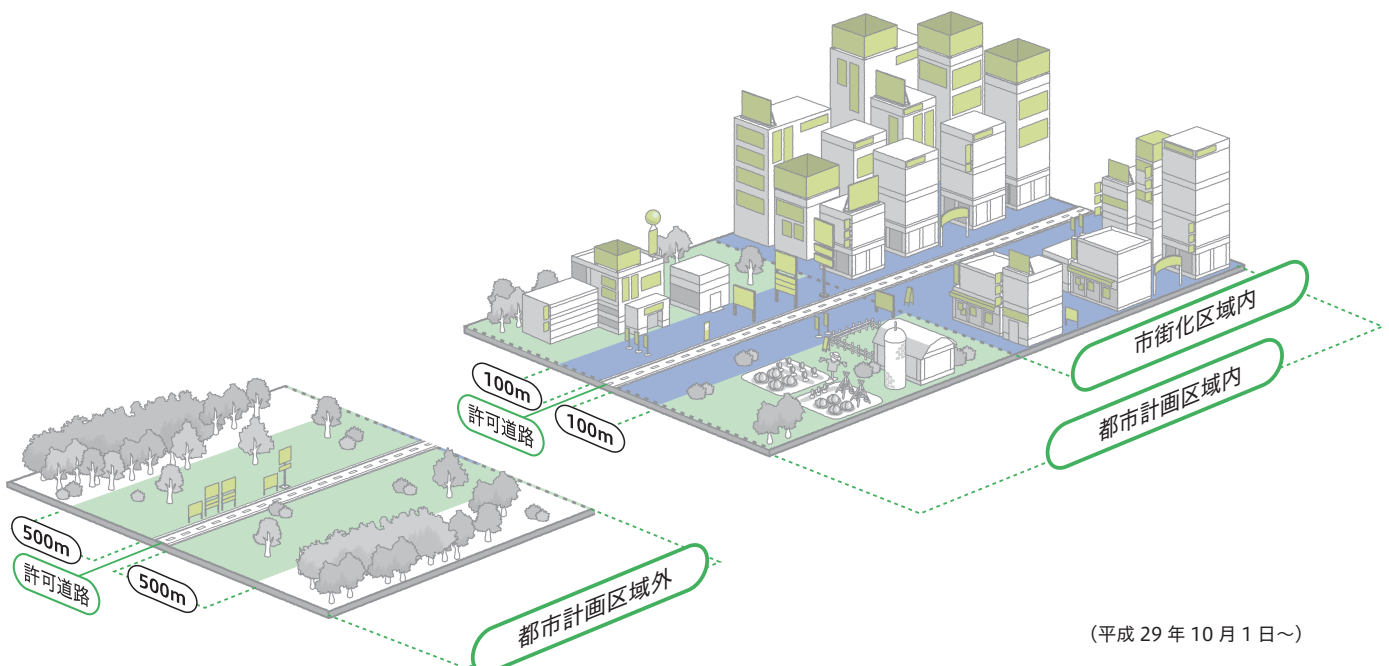
凡例

自然景観型許可地域

※都市計画区域外の許可道路（鉄道）の路肩端又は路盤端から両側 500m 以内の区域

市街地景観型許可地域

※都市計画区域内の許可道路（鉄道）の路肩端又は路盤端から両側 100m 以内の区域



(平成 29 年 10 月 1 日～)